

福島工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	人文社会科学演習Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0078			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	実験・実習			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	物質工学科 (R2年度開講分まで)			対象学年	3		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	配布プリントを使用する。						
担当教員	吉村 忠晴,川崎 俊郎						
到達目標							
①GISのしくみを理解し、GISソフトウェアの基本的な操作ができる。 ②配布プリント・使用データ・作成ファイルを管理することができる。 ③PDCAサイクルを実践し、問題点を改善して課題を作成することができる。 ④各自が選んだテーマについて、その原因やメカニズムに関する仮説を設定することができる。 ⑤必要な統計データを手し、統計地図・グラフを作成することができる。 ⑥統計地図・グラフについての読解・考察を行い、スライドを作成することができる。 ⑦スライドを使用して口頭発表し、質疑応答することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	到達目標の内容を実践で理解し、応用できる。			到達目標の内容を実践で理解している。		到達目標の内容を実践で理解していない。	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (D) 学習・教育到達度目標 (E) 学習・教育到達度目標 (F)							
教育方法等							
概要	GIS (地理情報システム) のしくみを理解し、GISソフトウェア (ArcGIS) の基本的な操作方法を習得する。また、GISを援用した問題解決・課題探求にも取り組む。その際に統計地図・グラフを作成し、その結果の読解と考察をもとに口頭発表を行う。						
授業の進め方・方法							
注意点	2年次の人文社会科学演習Ⅰの授業内容を復習しておくこと。Windows、Excel、Word、PowerPointの基本的操作を身に付けておくこと。ホウ・レン・ソウを忘れないこと。GISの操作では、注意事項を遵守し、資料に記されている手順を確認しながら行うこと。課題は、指定された様式に則って、期限厳守で提出すること。不正な方法によって作成した課題は評価の対象としない。正当な理由もなく遅刻・欠課した者には厳しく対処する。常にPDCAサイクルを実践し、問題点を改善していくこと。 授業報告書、配布プリント・使用データ・作成ファイルの管理状況、課題、口頭発表の成績を総合的に評価し、60点以上を合格とする。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		授業における注意事項、PDCAサイクル		
		2週	GISの基礎知識(1)		GISのしくみと機能、ArcGISの概要		
		3週	GISの基礎知識(2)		GISを操作する際の注意事項		
		4週	GISの基礎知識(3)		空間参照系 (測地系・座標系)		
		5週	ArcGISの基本操作(1)		地図データの入手		
		6週	ArcGISの基本操作(2)		地図データの読み込み、ツールバーの操作		
		7週	ArcGISの基本操作(3)		ArcGISで使用するファイルとその管理		
		8週	ArcGISの基本操作(4)		地図データの編集 (ディゾルブ、属性検索)		
	2ndQ	9週	GPS機能の利用(1)		経緯度情報の入手とデータベースの作成		
		10週	GPS機能の利用(2)		経緯度情報を利用した地図作成、画像データとのリンク		
		11週	統計地図の作成(1)		階級区分図、地域統計データの入手方法		
		12週	統計地図の作成(2)		ArcGIS用データベースの作成方法		
		13週	統計地図の作成(3)		地図データとデータベースの結合、階級区分図の作成		
		14週	総合演習(1)		総合演習の概要の説明と課題の指示		
		15週	総合演習(2)		地域統計データの入手とデータベースの作成		
		16週					
後期	3rdQ	1週	統計地図の作成(4)		統計地図のレイアウト作成 (タイトル、出典)		
		2週	統計地図の作成(5)		統計地図のレイアウト作成 (方位、縮尺、凡例)		
		3週	総合演習(3)		仮説の設定		
		4週	総合演習(4)		仮説実証のための地域統計データの入手方法		
		5週	総合演習(5)		仮説実証のための地域統計データの入手		
		6週	総合演習(6)		仮説実証用データベースの作成		
		7週	総合演習(7)		Excelによる基本統計量の算出と相関分析		
		8週	総合演習(8)		Excelによる散布図の作成		
	4thQ	9週	総合演習(9)		仮説実証のための統計地図の作成とレイアウトの作成		
		10週	総合演習(10)		統計地図・グラフの読解と考察		
		11週	総合演習(11)		口頭発表用スライドの作成方法		
		12週	総合演習(12)		口頭発表における注意点、口頭発表用スライドの作成		
		13週	総合演習(13)		口頭発表・質疑応答の練習		

		14週	総合演習(14)	口頭発表・質疑応答
		15週	まとめ	提出課題の確認と修正
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地歴	産業活動（農牧業、水産業、鉱工業、商業・サービス業等）などの人間活動の歴史的発展過程または現在の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響について理解できる。	3	
				人間活動と自然環境との関わりや、産業の発展が自然環境に及ぼした影響について、地理的または歴史的観観点から理解できる。	3	
				社会や自然環境に調和した産業発展に向けた現在までの取り組みについて理解できる。	3	
				日本を含む世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事象について、歴史的または地理的観点から理解できる。	3	
				国家間や国内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解できる。	3	
				文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。	3	
			公民	哲学者の思想に触れ、人間とはどのような存在と考えられてきたかについて理解できる。	4	
				諸思想や諸宗教において、自分が人としていかに生きるべきと考えられてきたかについて理解できる。	4	
				諸思想や諸宗教において、好ましい社会と人間のかかわり方についてどのように考えられてきたかを理解できる。	4	
				民主政治の基本的原理、日本国憲法の成り立ちやその特性について理解できる。	4	
				資本主義経済の特質や財政・金融などの機能、経済面での政府の役割について理解できる。	4	
				現代社会の政治的・経済的諸課題、および公正な社会の実現に向けた現在までの取り組みについて理解できる。	4	
			地歴・公民	現代科学の考え方や科学技術の特質、科学技術が社会や自然環境に与える影響について理解できる。	4	
				社会や自然環境に調和し、人類にとって必要な科学技術のあり方についての様々な考え方について理解できる。	4	
				今日の国際的な政治・経済の仕組みや、国家間の結びつきの現状とそのさまざまな背景について理解できる。	4	
				環境問題、資源・エネルギー問題、南北問題、人口・食糧問題といった地球的諸課題とその背景について理解できる。	4	
				国際平和・国際協力の推進、地球的諸課題の解決に向けた現在までの取り組みについて理解できる。	4	

評価割合

	試験	課題等	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	100	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	100	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0